

歯つらつ

2017年9月

258号

～発行所～

齋藤歯科診療所
由利本荘市美倉町 47-1

フシヨイハニ

0120-24-4182

FAX 0184-24-1440

www.saitoshika.net

～診療時間～

曜日:月曜日～土曜日
時間:午前 9:00～1:00
午後 2:00～6:00

～休診日～

日曜・祝日
第2・4木曜日

今回は歯科矯正治療についてお話しします。皆さんは歯科矯正治療についてどのような印象をお持ちでしょうか？

歯科矯正治療の目的は「口腔、顎機能や歯列、顎顔面形態の異常を改善し、治療後に患者さんの身体的・心理的健康を回復、維持、向上させること」にあります。そして実際は、様々なケースが治療の対象になります。

例えば、歯周治療を行う上で、歯列を改善した方が良いでしょう。つまり、ブラッシングしにくい歯並びを磨きやすい歯並びにすることがあります。

また、補綴治療（冠を被せたりブリッジで欠損を補う治療）に伴い、事前に歯を適正

歯科矯正治療 シリーズ1

な位置に移動させたりするケースもあります。口腔内全体の歯列ではなく、部分的に歯を移動させる時もあります。唇顎口蓋裂等の先天的な異常に伴う不正咬合を治す場合にも歯科矯正治療は有効です。

お子さんの成長発育段階において限界はありますが、咬合発育を誘導することも歯科矯正治療の範疇です。

治療対象となることが多い不正咬合について3つ挙げさせて頂きます。



①叢生(そうせい)

一つ一つの歯が大きかったり、歯が並ぶ顎が小さくて、歯が叢(くさむら)のように萌出している状態のことです。乱ぐい歯と呼ばれることもあります。



②上顎前突

いわゆる出っ歯で、上顎が下顎に対して前方に出ている状態です。



③下顎前突

上顎前突の反対で、上顎に対して下顎が前方にある状態です。反対咬合、受け



口とも言われます。この3つが代表的な不正咬合と言えらると思いますが、それらだけでも患者さんの年齢や不正咬合の原因などにより、治療方針、装置、治療期間は違ってきます。

歯並びなど気になることがありましたら、スタッフにご相談下さい。今回は治療内容とメインテナンスについてです。

— 今泉 —

9月の休診日は右記の通りです。患者様にはご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

日	月	火	水	木	金	土	
9月						1	2
3 休診	4	5	6	7	8	9	
10 休診	11	12	13	14 休診	15	16	
17 休診	18 休診	19	20	21	22	23 休診	
24 休診	25	26	27	28 休診	29	30	

休診日のお知らせ

ある日のスタッフ

◆ ◆
 今月は歯科衛生士の小松笑です。

先日、子供たちとどこか体を動かせるところに遊びに行きたいと思い、横手市にある秋田ふるさと村に行ってきました。何度か行っている場所なのですが、その敷地内にあるボールプールとアスレチックで思いっきり体を動かしてもらおうと思いい向かいました。

お盆休み中ということもあり、とても混んでいましたが、子供たちは元気に走り回って楽しんで遊んでいました。

◆ ◆
 その施設内で今回初めて見つけた遊び場があり、ワンダーキヤッスル内の「ノブのおもちや箱」というところで、沢山のおもちやと絵本がありました。木で出来たパズルやおままごとの道具もあり、小さな子供でも安心して一緒に遊べる充実した空間でした。

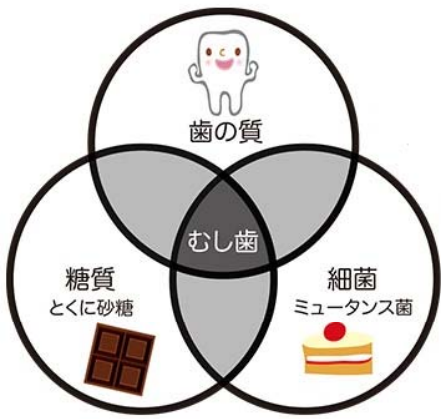
える時間が取れずにいたので、また時間を作って連れて行きたいと思っています。



乳幼児期の ミュータンス菌感染

ムシ歯は、プラークや歯石の中にいるミュータンス菌という原因菌が食べ物に含まれる糖分を分解して酸を作り出し、その酸によって歯が溶かされることにより起こります。

お口の中の常在菌で作られたプラークであれば、比較的ブラッシングで除去しやすいのですが、ミュータンス菌はネバネバ



しており、ブラシで取りにくく、次々と酸を作りムシ歯を作りま

す。
 ◆ ◆
 ムシ歯の原因菌であるミュータンス菌はもともと赤ちゃんのお口の中には存在していません。食事の時に、大人が使った箸、スプーン、コップ等を兼用したり、食べかけを与えたり、口移しなど唾液を介することで感染します。

◆ ◆
 また、ミュータンス菌に感染しやすい時期があります。

①乳歯の奥歯が生えそろう時期

②永久歯の奥歯が初めて生える時期

③永久歯の奥歯が生えそろう時期

◆ ◆
 乳歯は永久歯よりも歯質が弱いためミュータンス菌が作り出す酸によって影響を受けやすく、特に奥歯は溝があるため菌を除去しきれず感染してしまします。

◆ ◆
 しかし、きちんとプラークを除去することでムシ歯になりにくいお口の中を作っていくことができます。ブラッシング指導やフッ素塗布の治療を受けることも効果的です。

◆ ◆
 ぜひ食後のブラッシングを徹底して、親子共にお口の中の健康を保っていきましよう。

— 佐藤 —

